

クロスカルチャーエンジニアリングプロジェクト (CEP)@KMUTT

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年02月25日 ～2023年03月05日	タイ	キングモンクット工科大学ト ンブリ校	・システム理工学専攻、機械 制御システム学科 ・修士1年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生16名、学生バイト2名、 教員2名 (キングモンクット工科大学ト ンブリ校) 学生26名、学生バイト2名、 教員2名、職員2名	間野 一則(電子情報システム 学科)、長谷川 浩志(機械制 御システム学科)



図1 集合写真

1. 出張先: KMUTT, バンコク, タイ
2. 出張目的: 国際PBL(CEP@KMUTT)の実施
3. 出張期間: 2023年 2月 24日～2023年 3月 6日(9泊11日)
4. 出張者:
教員: システム理工学専攻: 間野一則, 長谷川浩志, 井上雅裕(外部参加).
学生: SIT 16名(内訳: 修士 10, 学部6.), KMUTT 26名.
TA: SIT 2名(修士), KMUTT 2名.
KMUTT側(教員・スタッフ): 工学部機械工学科 Aof 先生, Atikon先生, (Anak先生), 国際部.

5. 報告

大学院理工学研究科システム理工学専攻の国際PBL授業
「クロスカルチャーエンジニアリングプロジェクト (Cross-culture Engineering Project; CEP)」
をタイ・バンコクで KMUTTと実施した。

この授業は、システム工学・システム思考に基づく課題設定、解決策・プロトタイプを
提案する10日間のプロジェクトである。この国際PBLは、2013年に大学院共通科目として開始し、2020年よりシステム理工学専攻科目となり、通じて9回目となる。
3年ぶりのKMUTTでの対面実施となった。

詳細は以下のとおり。

各チームのテーマは、以下のとおり。

- (1) Safe traveling for tourists
- (2) Municipal solid waste management in KMUTT
- (3) Waste separation
- (4) How to increase visitor numbers in low season
- (5) Thailand train systems
- (6) Creating a sustainable city and tourism industry in Bang Khun Thian
- (7) Thai taxi cheating on passenger (TCP).

地域や社会問題を背景にしたものが多いのが特徴的である。解決策は多様である。

近年のAIやCloud技術で、すぐに実現されそうなシステム提案もあった。

以上



図2 アイスブレイキング



図3 gPBLワーク1



図4 模型例



図5 gPBLワーク2



図6 結果表彰



図7 教員